

な発展の影で長く周縁的な位置に甘んじながら、近年、劇的なコミュニケーション概念の拡張の中で意想外な権力を回復しつつあることが興味深い。

コミュニケーション方略は、あらゆる談話（ディスコース）の主導権を維持したりあるいは取り替えたりする権能を含むところが重要で、「自分がうなずかなかつたために相手が一瞬沈黙したのに乗じて、こちらから話し始めてしまうこと」や「母語話者からの問いかけに語彙も文法も不足して返答に窮したときは、平然と自分の知っている単語で話題を変えてしまうこと」もできる。こうした意図的な戦略の行使に限らない場合も含めて、コミュニケーション方略が、陰に陽に言語コミュニケーションを豊かにし、さらにその境界を越えてコミュニケーション状況を管理するその一連のミクロなポリティックスに、いま研究者の注目が集まっている。

今後、この研究の成果がどのような教育の現実の刷新に及ぶかは定めがたいが、授業におけるコミュニケーション方略の最近の質的研究を概観すると、学習者が授業システムでの新たな関係性を構築するためにこの方略にどうかかわるかが決定的に重要であることが明らかにされている。コミュニケーション方略は学習者の側から学びの文脈を改革する切り札とみられ、この視点から教授と学習の諸相を追究することが、授業の本質から学びの再構築を促すことになるのではないかと期待されている。

目 次

〈巻頭言〉

コミュニケーション方略と学び

塚 田 泰 彦 i

〈依頼論文〉

教師と学校教育改革 亀 井 浩 明 1

〈投稿論文〉

Duration Analysis of High School Dropout Risks in the United States:

An Application of Survival Analysis

to U.S. High School Student Data

..... Satoshi P. WATANABE 17

多文化教育と日系アメリカ人の

ナショナルアイデンティティ 岡 本 智 周 47

教師の悩みと成長・発達に関する研究の展望

—生徒との人間関係における

悩みに焦点をあてて— 都 丸 けい子

庄 司 一 子 65

大学生の「居場所環境」と自我同一性との関連

—現在と過去の「居場所環境」に対する

認知との比較を中心として— 杉 本 希 映

庄 司 一 子 83

中学生の教師に対する信頼感と

不登校傾向との関連

..... 中 井 大 介

庄 司 一 子 103